

2024～2025年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1820回例会

2024-25年度国際ロータリーテーマ

令和6年9月5日 (12:30～13:30)



○ソング

- 君が代、奉仕の理想

○ビジター

- 三金興業取締役副社長那須営業所所長 金子善弥様
- 白河南RC 西牧拓人会長 蓮沼一紀幹事 佐藤靖一様

○スマイルBOX

- 白河南RC西牧拓人会長(スマイル。)
- 白河南RC蓮沼一紀幹事(白河南ロータリークラブ幹事を本年度仰せつかりました。蓮沼と申します。よろしくお願ひ致します。)
- 白河南RC佐藤靖一会員(昨日、JCのゴルフで例会を欠席しましたので、今日西クラブさんに出席させていただきました。)
- 阿部克弘会長(本日は白河南RCの西牧会長様、蓮沼幹事並びに佐藤パストガバナー補佐様メイクアップ有難うございました。また三金興業副社長の金子様卓話有難うございました。)
- 十文字光伸幹事(本日は金子善弥様、卓話ありがとうございました。又、白河南RC西牧会長、蓮沼幹事、佐藤様メイクアップありがとうございました。)
- 池田浩章会員(白河南RC会長西牧様、蓮沼幹事、佐藤様ようこそ。金子善弥様、卓話お疲れ様でした。久しぶりですのでスマイルします。)
- 佐川京子会員(白河南RCのみなさまようこそお出で下さいました。金子善弥君、卓話ありがとうございました。誠実な人柄がよく伝わりました。これからもよろしくお願ひいたします。)
- 吉田充会員(昨晩は第8班のホームミーティングでした。藤田班長ご馳走様でした。楽しいホームミーティングでした。)
- 石川裕子会員(白河南ロータリークラブのみなさま、本日はありがとうございます。金子善弥さん、ようこそ西ロータリーへ。本日の卓話ありがとうございました。入会楽しみにお待ちしております。)
- 堀田一彦会員(昨日JCのじゃがいもコンペで優勝したのでスマイルします。)
- 金田昇会員(白河南ロータリークラブ西牧様、蓮沼様、佐藤様ようこそ。金子さん卓話ありがとうございます。リモートにて参加いたしました。)
- 矢田部錦郎会員(藤田龍文会員宅でホームミーティングがありました。素晴らしい設営で楽しい時間を過ごせました。お世話になりました。)
- 西山よしえ会員(藤田班長、吉田書記、8班の皆様、昨日はホーム未ミーティングありがとうございました。素晴らしい時間を過ごす事が出来ました。心より感謝申し上げます。)
- 成井正之会員(南RCの皆様ようこそ、金子善弥様卓話ありがとうございます。今週の大会スマイルは8/31 43名、9/1 44名でした。50-50までもう一息です。皆で応援しましょう。)
- 永野文雄会員(ゲストの金子善弥様、卓話ありがとうございました。南クラブの皆様ようこそ。昨日はゴルフと今夜のホームミーティングは出席で返事をしましたが、体調の具合で欠席になります。すみませんでした。)
- 瀬谷隆志会員(金子善弥さん素晴らしい卓話ありがとうございました。これからの活躍を期待しています。)
- 鈴木浩一郎会員(先月になりますが、誕生日プレゼントありがとうございました。出席を増やせるよう努力します。)
- 富永章会員(誕生日のお祝い有難う御座います。私的には嬉しくありません。)
- 白岩修一会員(誕生日のお祝いありがとうございました。)
- 石部辰雄会員(誕生日祝いありがとうございます。健康第一で頑張ります。)

▶第1820回例会出席状況 (R6年9月5日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ ①の出席者数	33名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	16名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	49名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	68
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	72.0%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 8月24日 CKB 松永紀男
- 8月24日 二本松RC交流会 吉野敬之、居川孝男、吉田充、鶴丸彰紀、運天直人、中嶋一貴、青木大、成井正之、高島裕、渡辺道直、堀田一彦

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんにちは。本日も大変多くのメンバーさんにご参加をいただきまして有難うございます。それでは本日メーキャップのお客様をご紹介します。まず初めに国際ロータリー第2530地区白河南ロータリークラブから西牧拓人会長様、幹事・蓮沼一紀様、同じくパストガバナー補佐・佐藤靖一様、続きまして本日卓話をいただきます三金興業株式会社副社長・金子善弥様です。後ほど、卓話をお願いいたします。本日もお客様がおいでいただいておりますし卓話の時間もありますので、私の話は短めにと思いましたが少しだけ災害についての話をさせていただきたいと思っております。

私は犬バカの阿部克弘で知られていると思いますが、本日お越しのメンバーさん並びにお客様の中にもペットを飼っていらっしゃる方が多いのではないかと思います。飼っていらっしゃる方、ちょっと手を挙げてください。ワンちゃんや猫ちゃんを飼っていらっしゃる方もっといると思いますが、この間も台風10号が来て甚大な被害をもたらしていました。

私は何度も申し上げますが、阿武隈川の近くに住んでいるので増水とか川の氾濫とかには大変敏感で大型台風やゲリラ豪雨、ゲリラ雷雨が来ると怖い思いがしていつもパソコンの川の水位の推移をみておりますが、もし万が一避難になればペットがいる方は同行避難ないし同伴避難になります。残念ながら白河市は同行避難になりますね。

同行避難は避難所までペットを連れて行く事ができますが、避難所の中までは入る事ができません。だから車の中とか外で行政の用意したゲージに入れたりします。同伴避難は避難者と一緒にペットを飼養ができますが、同伴避難を認めている行政の避難所は今のところとても少ないです。県内では先駆けてやっているところが福島市でいち早く同伴避難を認めその施設も指定しております。2022年10月に開催された福島市の同伴避難訓練に白河市に先駆けて私が参加してまいりました。体育館にテントが張られていて、その中にペットのゲージが用意されており飼い主さんと一緒に生活ができます。やはり同行避難だとペットが苦手な人もいるのでそれを考えると同伴避難がやはり良いと思っております。ただ環境省のガイドラインには同行避難・同伴避難がありますが、必ずしも同伴避難だから一緒に住めるかとは限らないので、その行政の担当に確認して同行避難・同伴避難をされれば良いと思っております。

ちなみに姉妹クラブの米沢中央ロータリークラブさんから災害支援の申し出があったのが山形豪雨災害でした。私たちも一助になればと思って義援金等の支援をさせていただきました。以前は30年に一度の水害と言われていたのですが、今は台風等で甚大な被害がでる

様になり毎年危険にさらされる環境になったので是非ペットのいるご家庭は考えていただくと有難いです。そこで避難で一番大事なのがゲージで慣れさせるという事だと思います。普段は家で自由にさせていると思いますが、犬バカの阿部克弘宅では家にも自動車移動の時もゲージに入れる訓練をしています。もし自由にされている方がいるのであれば今からでも遅くはないので、訓練をしてみたいかでしょうか？いつ災害が起こるか分からないので実践して貰えると良いと思います。

話は変わりましたが、私も分からなかったのですが災害支援をしたときに米沢中央ロータリークラブさんと姉妹提携の調印式を行いました。姉妹クラブと友好クラブの違いは国際ロータリーに登録するかしないかで姉妹クラブか友好クラブかが決まるようで、登録すると姉妹クラブになると吉澤会長からお聞きしました。ロータリアンの方は覚えて帰って貰えると良いです。

今日もいろいろ白河南ロータリークラブの会長さんの挨拶や金子さんの卓話があるので会長の時間は以上となります。本日もよろしくお願いいたします。

■幹事報告

十文字光伸幹事

- 白河市国際交流協会 会長 内藤義久：令和6年度高校生海外派遣事業帰国報告会の開催について
- ユネスコ協会連盟理事長 鈴木祐司：『2023年度活動レポート』の送付について
- ガバナー事務所：会員増強・新クラブ結成推進月間リソースのご案内
- ガバナー事務所：基本的教育と識字率月間リソースのご案内
- 会長 浅田豊久：バギオだより
- ガバナー 早川敬介 ラーニングファシリテーター 平井義郎：行動計画推進説明会開催のお知らせ
- 日本事務局/業務推進室：【一部訂正とお詫び】：2024年9月/基本的教育と識字率向上月間
- ロータリー文庫：学友ナイト登録料のご負担について
- 2023-24年度ガバナー右近八郎：2023-24年度ガバナー月信合本送付のご案内
- ガバナー 早川敬介、学友ナイト実行委員長 石黒秀樹：国際ロータリー第2530地区2024-25年度地区大会「学友ナイト」および「青少年会議」について

■本日のお客様

○白河南ロータリークラブ会長 西牧拓人様



皆さん、こんにちは。白河南ロータリークラブ、今年度会長の西牧でございます。我がクラブ人数が少なく16名しかおりません。実働部隊といえ8名から10名でございます。そうすると計算上会長が大体7～8年に1回回ってくるということですね。前回、わた

くしが会長初めてやった時が約18年前かな。岩手で地震が起きまして、次に会長を仰せつかったのが忘れもしない2011年でしたね。東日本大震災が起きまして。じゃあ、今年は何が起きるかなと思ったら、能登のほうで地震は起きるは、この間宮崎でほうで地震は起きるは今の阿部会長のお話ではないんですけども、じゃあ次4回目の会長の時は何が起きるんだろうなんて考えると、ちょっと空恐ろしい気もいたしますね。先程も申し上げました小さいクラブなんですけども、西クラブさんや白河クラブさんと協力し合いながら地元の事をいろいろ奉仕を行っていきなというふうに関から考えておまして、今年一年も、明るく楽しいロータリー活動を目指しまして勤め上げたいと思っております。西クラブさんのほうには何かとまたお世話になるかと思っておりますけども、どうぞひとつよろしくお願いいたします。

■各委員会報告

○雑誌広報渉外委員会

瀬谷隆志委員長



それでは『ロータリーの友』の読みどころを発表させていただきます。今日、盛り沢山な内容で時間がないので、私今月号から一つだけ是非読んでいただきたいと思うのが、横目次のほうの20ページにあります「山の手ロータリークラブ押し活」という所でございます。20ページなんですけど23ページのほうに児童養護施設の活動7つのヒントというのがありまして、仕事柄ちょっと一番目についたんですが、この7つのヒントは今後我々が事業をやっていく中で参考になるのかなというふうに思いますので、是非ご一読いただければと思います。

○米山記念奨学会委員会

成井正之委員長



米山奨学会の委員長を務めてます成井ですけども。今年の特別寄付もう既に、4名の方が集まりましたのでご報告させていただきます。永野パスト会長、それから金田パスト会長、それから吉田パスト会長、あとわたくしでございます。一応目標は4名だったのですが、理想を言えばあと3名欲しいわけです。是非、今月中に我こそはという方は寄付していただければ70万という大台に乗りますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

■本日のプログラム

○雑誌広報渉外委員会担当例会

雑誌広報渉外委員会 瀬谷隆志委員長

それでは担当委員会の例会を始めさせていただきますと思ひます。本日卓話を頂戴しますのは「三金興業株式会社」取締役副社長兼那須営業所所長の金子善弥

さんです。沢山プロフィールはいただけてるんですが数多過ぎて、多くの所属団体に所属されてるということで白河市で活躍されております。わたくしの関係でいうと、青年会議所の先輩後輩にあたりまして、わたくしが理事長の時の総務委員長をお願いしておりました。いろいろ逸話はあるんですが、昨年度、福島県のブロック会長を勤め上げましたので、その辺の内容を卓話で頂戴できればと思ひます。演題としましては「白河でも10年間とこれからのビジョン」でございますので、金子善弥さん、お願ひします。

○「三金興業株式会社」

取締役副社長 金子善弥様



過分なご紹介いただきまして誠にありがとうございます。瀬谷さんからこのお話いただきまして、私の中で西ロータリークラブさんというのは本当に青年会議所、私が今本気でやっている団体なんですけど、大先輩ばかりいてある意味一番やりづらい団体の中でこのようなお話をいただきましたので、また一つ私が成長するための何かきっかけであったりとか、素晴らしい機会になるんじゃないかなというふうに思ひまして、それと合わせて瀬谷委員長に関しましては、私が初めて青年会議所で委員長を務めた時に声をかけてくださった理事長でございます。その委員長をやった時に、右も左もわからず当時の先輩方に沢山ご迷惑をおかけしたんですが、そのおかげで今の私があるなというふうに関に本当に心から思ひしております。先程ご紹介あったのですが「白河での10年間とこれからのビジョン」ということで、なんのひねりもないつまらないテーマではございますが、このとおりに進めさせたいと思ひしております。まず自己紹介でございます。金子善弥38歳、6月3日生まれで今年38歳になりました。干支で言いますと寅年で丙寅に当たるそうです。強烈な世代だと言われております。同世代には吉成茂君であったりだとか、他にも活躍している方が沢山いらっしゃいます。6月3日に神奈川県横浜市で生まれました。わたくしの母親が横浜市出身でして、しばらく横浜市で育った後にカトリック幼稚園に入園しました。その後は白河第一小学校に入学して、中央中学校こちらに入学しました。父と母はとても教育熱心でとても厳しい環境で育ちました。勉強もしろ。そして、あと運動はバスケットをやっていたんですが、バスケットも頑張れということで、中学校までは学歴で言いますと学年で1番か2番かをキープしつつ、バスケットでは何とかスタメンをキープするという形でやっておりました。その後、白河高校の理数科に入学しました。勉強にちょっと自信があったんですが、やっぱり理数科に行くともものすごい勉強できる方が沢山いて、いろんな町であったり村から来るので、もう本気で命がけで来てるんだなというふうに関に感じました。授業も黒板が前だけじゃなくて横と後ろに

あって、単純に他のクラスより3倍早いということで全然ついていけなくて、もう一学期で諦めて私はもうバスケットと恋に方向転換しまして、勉強はクラスで一番か二番が下からですね。平均という形で、バスケットを引退するまでその位置をキープしていたんですが、やっぱり父からいい大学に行けというふうに言われてまして、父が早稲田大学出身なんですけど、早稲田に行けと言われてあと半年しかないと思って、ずっと理系で来てたんですけどこれどうにか早稲田に近づくためには文転をしなきゃいけないということで。夢も希望もなくその場しのぎで何とかこなして、そのあと横浜市立大学という母の出身の横浜が大好きなので、当時の家庭教師にも横浜市立大学はパイが少ないというか人数が少ないから絶対難しいと言われてたんですけど、そう言われると何ていうんですか、悔しくてやってみようと思って本気で半年間勉強させていただく機会を両親にいただきまして、勉強して何とか入学することができました。ただその後、大学に入ったらまた厳しい親元から離れたわけで、その遊びまくってしまったんですね。バーテンダーという職業にすごい憧れてまして。トム・クルーズの映画で「バーテンダー」ってそのままの映画があるんですけどそれに憧れてて、それにはまったらもう学校に行かずにバーテンダーばかりやって、当時の先輩とかお客さんとかにいろんな遊びを教えてもらって、TOEICで700点以上取らないと進級できないっていう大学なんですけど、ぎりぎりまでやらずに蓋開けてみたら間に合わないという。また、同じ過ちを繰り返してしまって、当時の父に報告しに来るのに2年か3年に上がる時に留年が決まったんですけど、父が新白河駅に迎えにきてくれてミスタードーナツに連れていかれて、どうしたんだという話で、留年が決まったと言ったら、自身も大学で留年したらしくて、そんなに怒ることはなかったんですけどずっと言ったら、お前の職業何だと言われて、バーテンダーですって言ったら、いや学生だろってというふうに言われて、勉強しろというふうに当たり前のことを言われました。当時その時に私、何のためにやってるんだ、その当時の頑張ってる事ですね。その目的は何かというのを学んだ気がします。その後、私の祖父であります金子博ですね。生前ですね、皆様には大変お世話になりましたし、何よりこのホテルができたのが私が生まれた年にできた年になってます。その時、私がサラリーマンやってる時にいろんなことがあったというふう聞いておりますし、皆様にも多大なご迷惑おかけしたと聞いております。この場でこうやって話させていただくのも、祖父の代わりに大変僭越ではございますが本当に申し訳なく思っておりますし、これから私の作業や地域活動を通して皆様にお返しと言いますか、償っていきなというふうに思っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻よろしくお願ひしたいと思っております。ちょっと話は逸れてしまったんですけど、その後祖父に報告したら素晴らしいことだというふうに当時は言っていました。逆境があるほど人は強くなれるから、

お前にとってその留年なんて別に大したことないし、これからいろいろ社会に出てもっと大変な事はいっぱいあるから前向きに頑張れというふうに言ってくれたのを覚えております。その後、金子大成さん、おじさんにあたるんですが相談したところ、当時建設業界がとて大変な時でした。震災前ですね。なので、「三金興業」も大変な時期にお前はとんでもないことをして何やってんだとボコボコに怒られて、一体この3人の誰の意見を聞けばいいのかすごい混乱したのを覚えております。その後、リーマンショックがあった後に、何とか味の素グループに入ることができました。この話もちよっと後程させていただくんですが、味の素グループに入って特に社長からすぐに帰って来られると思うとか、海外に行ってMBAとかそういった事今お前がやっても多分絶対に成功しないから、とりあえず他人の飯を食って来いと言われてまして、できれば大手で組織つものを見て来いというふうな話がありました。片っ端からとりあえず大手を受けてみてリーマンショックもあったのでなかなか大変だったんですけど、何とか味の素グループという会社に入らして、自分がもちろん希望の部署には入れなかったんですけど、社宅の管理だったりとか、社員の保険の管理であったりとか、そういう総務系の福利厚生部署というかグループ会社に配属をされました。入ってみて気付いたんですけど、味の素という会社ものすごい会社でして、食品業界でいうと全体的でいうと1.359兆円の売上高を誇っております。同じ業界でいうと例えばアサヒビール、キリンビールが同じ規模だと聞いていたんですけど、酒税とかそういう関係もあって食品でここまで大きい会社というのはなかなかないそうで、当時はカルピスであったりとか他にもクノールさんとか、いろんな会社がグループ会社になってるんだなというが入って気付いて。会社ってなんか一理あるなと思ったんですけど、宗教的なところもあるなというふうに思っていて、みんなその味の素が大好きなんですね。私も当時は洗脳されてまして、味の素のストラップをこうバックに付けたりとか、社員も結構な金額を投資して持ち株を持ったりだとかそういった会社でして、配属されたその日に一番上の役員の方にゆっくり成長してくださいというふうに言われるような、本当に日本企業の年功序列の本当にそういった典型的な会社だったんですけど、やっぱり素晴らしい先輩であったりとか同期が沢山いて、今でもその繋がりがありますし、会社の例えば、本当は社外秘な情報とかもちょっとこっそり貰ってうちの会社でちょっと福利厚生で使ったりとか、社内規定で活用させてもらったり参考にさせてもらったりとかもする関係を今でも続けておりまして、本当に感謝してるところでございます。3年半働いた後に震災を経て、いろいろあって社長といろいろ話して帰ることになって、2013年10月1日に「三金興業」に入社しました。最初は土木営業グループに配属されたんですけど、当時は震災のあと真ただ中で、除染業務を担当することになりました。忘れもしないんですが、大信地区の赤

坂住宅という所がありまして、そちらの住宅の庭の土を掘ったりとか、新しい土を入れたりだとか、現場代理人という管理の仕事とかもさせてもらって。白河市内のいろんな小学校の校庭に汚染物質を埋めて掘り起こしたりとか、そういう仕事もさせてもらいましたし、その後、常務取締役をやったり、今年の1月から副社長になったんですが、常務の時までは人が足りない時は私の名前でご入札に参加して、もちろん先輩社員に手伝ってもらいながらですが、現場も一通り経験させていただきました。その後、左の写真ちょっと最初に言おうと思って緊張して飛ばしてしまったんですが、私の家族になります。2020年に撮影しました。とても今こう見ても幸せそうに写ってるんですが、2019年に青年会議所の理事長をやらせていただいて、もうこういうふうに見えてますけど実はボロボロです、家庭環境は。なんとか笑顔は私も取り持っていて、この時も2020年にコロナがあったと思うんですが、コロナ前だったので二日酔いかなんかですごい辛い思いをしながら、妻に怒られながら、娘にも臭いって言われながら何とか撮ってる写真でございます。その下に、インスタグラムのプロフィールの一部を抜粋してるんですけど、海外旅行が結構好きで、子供の頃も何か国か親に連れてってもらったんですが、大学時代もそのバイト代であったりだとか、味の素で稼いだボーナスであったりとかを活用して様々な国に行かせてもらいました。やっぱり、いろんな文化だったりとか多様性とかですね。今、言葉注目されてますけど、それが当時から当たり前にあったというか、大学の同級生たちも今でも多分共同通信であったりとか、パイロットになってる先輩がいたりとか、電通、博報堂とかキャノンの海外工場勤務したりだとか、三菱重工のエンジニアで一週間で必ず一か所海外行ったりとか、そういう先輩たちも沢山いて、仲間もいて、今でも私のこと構ってくださっていて、私の話も聞いてくださるので、なんか40代近くになってから仕事としても今繋がってきてます。こういった関係をすごい大事に今までできて良かったなというのが本当に今実感してるところでございます。こちらがうちの会社を通して私が今、主に出席させていただいてる団体になります。地方のゼネコンになりますので、いろんな協会であったりとか団体、組合に所属することで、仕事の機会をいただくということで、今、社長がほとんどというかもゼロですね。外に出る機会がないので、普段の仕事を通してでもこれだけの団体に顔を出す機会があって、やっぱり本気でやると忙しくなることをすごい実感しておりますし、この中でも優先順位を決めて私の中でやらせていただいております。特に8月とか7月、総会時期になると本当毎日総会がかぶっております、本当に大変だなと思ってるんですが。その中でも、中小企業同友会はうちの芳賀専務が行ってくださったりとか、建築士協会のほうは建築の営業の方に行ってもらったりとか振り分けてはいるんですが、これでも多分一部だというふうに思っております。あとは、株主をやっている

「白河アスコン共同体」という会社があったりだとか、「楽市白河」ですね。先輩方沢山いらっしゃいます。そういったところでやらせてもらってまして、個人的にもPTAだったりとか、消防団を通して本町さんにすごいお世話になっていて、当時うちの会社が誰も見方をしてくれなかった時期があったんですが、本町さんは本当に私を快く受け入れてくださってその流れで今、祭りも久しぶりに今年やるということで、できる限り進行役として手伝わせていただいているというところで恩返しはしなきゃいけないなと頭では常にいるところではございます。協力団体で叔父がその「博英会かねこクリニック」などをこうやっておりますので、そういった今はその地域のコミュニティの中で生かされているという段階でございます。そして、3枚目になるんですが「挫折と困難」というテーマで3枚目用意させていただきました。もちろん、皆さんも当たり前にある話なんですが、受験であったりとか、校内のテストであったりとか、幼少期から大人になるまでですね、私の場合は特設陸上部でリレーの選手をやったり、バスケの大会で当時の高校の時、県大会に行けないような弱小高校だったんですけど、その県大会行きたいなというところで、皆一丸となってその目標達成最後にした時には本当に嬉しかったです。でも、県大会という目標だとその上はもちろん行けなかったなというふうにも今となっては思い出します。ただ、当時頑張った仲間とは今でも繋がっております。あとは、恋愛とか皆さん経験してるような困難はもちろんなんですが、その中でも今まで38年間生きてきて私の中で大きな3つの困難というか修練というか、それを挙げさせていただきます。まずは、大学留年と就職活動。先程、話させていただいたので、細かい部分は割愛させていただきますけども、時代背景としてもリーマンショックの時だったんですね。私がかちゃんと勉強して4年間でストレートで就職していれば、私の同期はものすごい大きな会社に行ってるんです。別に学歴じゃないですけど、うちの大学の先輩とか同級生を見るとやっぱり努力の仕方を知っているというか、目的をもっと先において頑張れる、遊びも勉強も頑張れる魅力的な男とか女性が多くて、そういったところすごい学びましたし、私は失敗してから学んじやうのでいつも後悔ばかりなんです。リーマンショックの時も就職活動辛くて、なかなか就職決まらなくて悩んでいる時に後悔もしたんですが、最後まで諦めずに就職活動して何とか味の素グループに入れたというのは、自分にとっては当時の精一杯でした。なので、諦めなくて良かったなと思っています。そして、二つ目の困難としてちょっと本当センシティブでどこまで話していいかわからないんですが、私とそのサラリーマン時代、祖父の金子博が東京都知事選挙に出たんですね。私、別に今は何とも思っていないので笑っていただいて結構なんですが、よくサラリーマン時代は先輩に合コンをやれと毎週金曜日に言われて、もういろんな人脈を駆使して無理無理合コンをセッティングして先輩たちに

何故か接待をする役だったんですけど、その飲み屋に向かう途中に都知事選の看板があって、そこに右下のほうに金子博って出てるんですね。当時の私は例えばドクター中松さんとか、他にもマック赤坂さんとか、そういうふうな同種なんじゃないかなと思ってとても恥ずかしくて先輩たちにも言えなかったんです。その看板の前を早足で素通りしていたところでした。当時、その白河の状況はどうだったかはわからないんですが、変わったおじいちゃんだなと、大好きだったんですけど、ちょっとなんかおかしくなっちゃったのかなと思ったのを覚えております。二つ目が私の父にあたります金子芳尚になるんですが、尊敬してるという大前提でちょっと話させていただくんですが、やはり、この地域にとっては私帰って来たばかりで、この福島県知事という選挙に出馬されていたんですね。私は本当に右も左もわかんなくて、青年会議所も入ったばかりで何もわからずとにかく手伝えと言われて、社員の皆は反対するし、止めろと言われるし、止まんないし、なんて言うんですかね、帰ってくる時にお前が安心して何でも好きなことができるような環境を用意しておくと言われていたのに、話がちげーじゃねえかとか自分の中でも思っただけで、妻も泣いてるし、母も泣いてるし、もう選挙っていうのは本当に大変なんだなっていうのを実感しました。県内59市町村、回らせていただきましたし、わけもわからずなんかこう爪はじきにされるような気持ちになりながら、多分病院に行ったらパニック障害と言われるぐらいちょっと追い込まれた時期だったんですけど、とにかく、父が出るということで応援するしかねえなというところで、全力で無我夢中でやったのを覚えてます。当時、龍文先輩がJ C会館の近くでお会いした時に、終わった時に全部答え出るから飲みに行こうぜっていう、俺もちょっと似たような境遇があるんだというふうに言ってくださって。なんかすごい救われたのを覚えております。やっぱり、白河で白河だけを大事にするわけにもいかなかったもので、郡山とかいろんな町村回ってる中でやっぱり白河市からもちょっとづつ応援してくださる方もいまして、駄目だ駄目だという環境の中いたんですけど、最後に白河駅前でお父さんが発声する時に、私は何もわかんないんですけど選対本部長とかも人がいなかったからやっただんですけど、一言って時に喋らせてもらう時に、当時増子先輩だったりとか、J Cの先輩が、一部世間体とか何も気にせず前に来てくださって、下請けさんとか協力会社さんの皆さんも来てくださって、本当に大変な時に助けてくれる人がこれからも大事にしたい人だなというふうに改めて思ったところでございます。本当に当時はお世話になりましたし、大変ご迷惑をおかけいたしました。そして、三つ目がやっぱり私にとって大きな青年会議所J Cになります。経歴が2014年に入会、13年に仮入会ですね。当時、佐藤タイゾウさんが理事長でした。私、帰って来たその日に全体会議で紹介されて、実家で親と3人で飯を食っていたらピンポンと鳴って、佐藤タイゾウさんが迎えに来てくだ

さったんですけど。もう父と話が付いていて、とりあえずJ Cで頑張れと、理事長様が迎えに来てくれるんだぞみたいな話になっていて、なんかすごい人なんだな。白河で帰ってきて仕事をするということは、青年会議所という団体に入るのが当たり前なんだなというふうに思うしかなくて、何の抵抗もなく入ってとにかく全力でやったところでした。2015年に委員長をやらせてもらったんですけども、前年度に「遠藤商事」さんの遠藤博己さん、委員長でして、本当にお世話になりました。私が本気になりすぎてちょっと先輩たちに生意気を言った時に、やっぱり博己さんは酒を飲みながらああいう時はこうしたほうがいいよと、例えばリーダーシップの取り方とか、人の使い方とか、言い方悪いですけどそういったところを長をやる人は学ばんだというふうに教えていただきました。他にもいろんな先輩がいろいろ指導していただいて、初めての総務委員長が入会したばかりだったんですが、当時本当にお世話になって、終わった最後の12月くらいですね、もう一回やってみようというふうに思うぐらいちょっとはまってしまった時期であります。その後、青年会議所ってどんな団体だろうって益々興味を持ちまして、日本青年会議所っていうのが親会だから親会にとりあえず行ってみようと思って、2016年に国家グループ民度向上委員会っていう右寄りなグループになるんですが、とりあえず行ってみました。機会をいただきました。小幹事という役職をやらせてもらって、とにかく楽しくて日本全国行っている人とお会いして、すごい人が沢山いて、日本青年会議所ってこういう世界なんだなと学びましたけど、ちょっと仕事を無限にしすぎてですね、自分の中でも今すごい反省してるところでございます。その後、副理事長を経てブロックのアカデミー委員会に出向させてもらって、企画室長という役職をやらせてもらいました。青年会議所の中で理事長をやる前の年に必ずやる役職で、この役職は私が知ってる限り去年も日本全国の会議であったりブロックの話聞く機会がありましたけど、白河青年会議所独自のルールでして、それを長年続けるということ、そこは本当に自分がやってみて素晴らしいシステムだなと思ってますし、繋げてくださっていた先輩たちに本当に心から感謝してるところでございます。これはもう白河青年会議所のいろんな特徴がある中での自慢できる一つの制度だというふうに思っていて、というのも大変なんですね。本当に大変でもうこの時くじけそうになったんですけど、当時の理事長が有賀一裕さんという方で、「有賀酒造」のご長男になるんですが、何でもやりたがる人で、しかも周年の年だったので全部企画室長に来るわけですよ。手分けして当時、「渡辺設計」の渡辺道直先輩が副室長を務めてくださって、当時川口に住んでいたのに毎日のように大変な時に来てくださって、本当に一生をかけて恩返しをしなきゃなって思っております。本当にすごい優秀な方で今でも繋がりがあって、本当に当時助けられました。先輩たちにも大昭和まつりの代わり

になる事業をやらなきゃいけないというプレッシャーもあって、大昭和まつりってがものすごい祭りであったので、NEXTしらかわっていうことで60周年記念事業を企画させてもらったんですが、やっぱり風呂敷を広げすぎて予算もオーバーしてしまって、先輩方に頭を下げて協賛をいただくことになったんですが、当時の先輩たちにも怒っていただきましたし、本当に反省して予算組みってこういうふうにするんだって、皆様が当たり前で思っていることが私当時知らなくてですね、普通の会社だったら赤字決算の予算書を作ってしまったんですが、何とかやりきることができてすごい学びを得たところがございます。あと2019年に理事長をやらせていただきました。すごい楽しかったです。当時、兼子先輩から俺は龍文さんの後の50周年の後の理事長をやった時に大変だったんだと言っていました。周年の後の理事長ってみんな疲弊しきって、モチベーション上げるのが本当に大変なんだって仰っていて、それをすごい意識して一年間やって、めちゃくちゃ当時の委員長であったり副理事長には迷惑をかけて、けつを叩かせてもらったんですけど。みんな本当に年下の自分に対して文句もあったんでしょけど、直接は言わないでいてくれて頑張ってくれて、その2019年もゴミ拾いやったりだとか、ツールド白河というのやったりだとか、本当に思い切りやらせていただきました。そして、その後ですね、家族が崩壊に近づいたのでその次の年はなんとか家族サービス、家族と会社に集中させてくれということで、当時石田先輩が次の年だったんですけど、もうこの人に別に嫌われてもいいから、まず家庭壊したら元もこうもねえなと思って、その家庭の修復に全力でやったのが2020年でした。たまたまコロナが起きたので、当時大変だった方々もいらっしゃると思うんですが、私の家庭にとってはコロナが本当にありがたくてですね、外に出る機会がなくて打ち合わせも全部ズームで済んだので、何とか首の皮一枚繋がったかなというふうに思っております。2021年に東北地区協議会の〇〇担当副会長もやらせてもらって、なかなか会えない経済界のすごい先輩方と対談させてもらってフォーラムやらせてもらったりとか、東北各地の仲間と繋がることができ、今でも連絡を取っておりますしその会社のやり方ですね、こちらをこういろいろ情報を聞きながら参考にさせていただくことが自分にとってすごい財産だなと思ってます。その後、ブロックの副会長やらせてもらったり、先程阿部会長からも災害の話がございましたが、JCは社会福祉協議会と協定を結んでまして、何か災害が起こると出動しなきゃいけない。物資であったりとか人的支援ですね。それを東北地区と福島ブロック協議会でやらせてもらって、めちゃくちゃ大変でした。こういうふうにも、でも社会って成り立ってるんだっていうのを理事長をやった時以上に学ばせてもらいました。そして、去年、福島ブロック会長という役職をやらせていただきました。やっぱり、委員長、理事長、そしてブロック会長と長をやらせていただくと、

終わった後にもものすごい勉強になったなと思ってます。白河青年会議所でいうと渡辺義信先輩であったりとか、直近ですと青木大先輩がいらっしゃいましたので、本当に私でいいのかというところで相談も始まりましたし、大さんには席を設けてもらって二人で話す機会もいただいて、何がお前悩んでんだ、やりゃいいじゃないかって言われて、何なのって聞いたらやっぱり家庭がちょっとまずいんですって話をしたら、関係ねえからやっちゃえ、わかってんだろって。そういうふうになって嫁いでるんだからと言われてたんですけど、ただ状況がちょっとね、人によると思うんですけど思いながらも確かにとこう言って合わせて、ちょっと違った形で妻を説得する形にはなったんですが、なんとか会社もOK。白河青年会議所も上田理事長という大きな存在がいたので、何とかやらせてもらって一年間走ることができました。もう本当に失敗ばかりで、こんなに大変だとは思わなくて充て職も白河青年会議所の充て職どころじゃないんですね。もう福島県の充て職が毎日のように降りかかってきて、その中でも会社でもいろいろあってやらなきゃいけなくて、言葉では伝えるの簡単なんですけど、精神的にも凄かったです。その麻生さんの息子ご長男が当時日本JCの会頭で、わかりやすくいうと私なんかは銀行でいうと福島支店のただの支店長なんですね。日本青年会議所所属の末端の社員になりますので、ノルマ達成しろとか、これどうなってんだ、この資料提出しろと、もう朝昼問わず来るので、ブロック会長なのにブロック会長って何もしなくてなんか挨拶して顔を出して他の人とかやってくれるんじゃないのかと思ったら全然違いましたね。自分でパソコンやっていると資料作りから何からして本当に大変でした。もう励ます会を皆さんやっていたいて、本当に沢山の金額をいただきました。白河青年会議所は今人数も少ないですし、行事も多い中行かないのに登録料払うというのは私もやらせたくなくて、一部吉成理事長であったりとか、石川格子さんとか、当時の一部ですと三役とか理事にだけ声かけて助けてもらって、あとはもう貯金を崩すっていうもう訳が分かんないですね。本当にあの当時を振り返ると、こんな無駄金はなかったんですけど、それでなんとかノルマを達成していったんにかおかしくなっていました、自分自身。追い詰められすぎて。そう



いった団体から脱却しなきゃいけないっていうふう
に改めて思っていて、今年の会頭はそういった兆しがある
みたいなので本当にいいなと思いましたが、逆に私はその
一番厳しい時を知ってるので、逆に自分みたいな甘った
れが成長できる機会に恵まれたのかなと今では思ってお
ります。本当に貴重な機会に恵まれて、ただよく理事
長とブロック会長どっちが楽しかったと言われるんです
がもちろん理事長でして、ブロック会長は二度とやりた
くないなと思っています。今年はまだ家族の修復の年に
したかったんですけど、やっぱりそうはいかなくてあと
2年も残っているの、いろいろ声かかりながらちょっと
かわさせていただいて、何とかブロックの直前会長とい
う役職と東北地区の監査担当役員ということでやらせて
もらっています。ブロック会長と比べたら全然家庭と仕事
に集中できるポジションでして、今日も物理的に間に合
わないので白河青年会議所の次年度役員候補者会議で
第一回目の記念すべき会があるのでそこに顔を出して、
その後仙台まで行って始発で青森に行くってあるん
ですが、40歳まではちょっと青年会議所も思い切りや
って、家庭も思い切りやって、仕事も思い切りやる
ということで、自分のキャパを広げたいなというふう
に思っています。妻には言えないんですが、2年後の
ラストイヤーにどこか自分の中で〇〇委員長に挑戦
してみたいなというのがあって、そこは白河青年会議
所の環境作りだったりとか、他にも会社の状態であつ
たりとか、そういったところの調整も必要なのでまだわ
かりませんが、ここからの自分次第なのかなと思っ
ております。あとは会社の話になります。会社に入っ
て10年ちょっと。最初は本当に社員の皆さんがです
ね、構えてました。どこのバカ息子が帰って来たんだ
みたいな感じで、言われてはいませんけどもとにかく
マウントを取ってくるんですね、社員が。俺は一級土
木持ってる、一級建築持ってる、現場はこうやって
るとこう言うてるんです。何でこの人たちはこんな
敵対してくるんだろう、仲良くなりたいのと思いつ
つながら、言われるとこっちも腹立ってきて、この業
界全くゼロベースからのスタートですので、工期って
いう言葉も知らなかったんですけど、そこから除染
であつたりとかいろいろ勉強して社内も人が足りな
いので、広報であつたりとか社内のシステムであつ
たりですね、この真ん中のホームページの下に各種
認定があつて、いろんな認定があるんですけど、こ
れも基本的に全部私が取得と更新をやらせてもら
っております。あと、資格試験も気合いと根性で全
くわからなかったんですけど、何とか国家資格を
ちょっとづつ取ってって、今年の夏もサマコンに
参加しながら二日酔いでべろべろになりながら
勉強して、午前と午後の一級建築施工管理技士
という資格試験を終えたところでございます。あと
他にも細かい資格も取って、とにかく社員に負け
たくないという気持ちがあつて、10年間経ってや
っと社員にちょっとづつ認められてきております。今、
私の協力願ひであつたりとか、こういうふうに変

えたというの、ちょっとづつ私の感覚だとだいぶ浸
透してきていて、今会社の経営に携わっていてす
ごい楽しいなというところでございます。本当、社
長の代わりに地鎮祭であつたりとか、冠婚葬祭も
含めてすべての協会での集まりも全部行って
ます。仙台から那須のほうも行ってますし、東
京のほうにも不動産部門があるのでそちらのほう
にも行かせてもらっております。本当に父にはある
意味感謝しておりますし、会社でこういった環境
で思い切り働けるといふのも、本当に幸せなこと
なんだなというふうには思っております。ちょっと
J Cで学んだこと、VMVセミナーってのがあつ
たんですけど、それを企業理念で一番右側に並べ
させていただきました。来年100年迎えるん
ですけど、いろんな家訓であつたりシンクンあり
まして、それをこうシンプルにする。そもそも社員
が全く興味もないし、私もサラリーマンだつた
からわかるんですけど、そういう興味ない中で、
これをミッションビジョンバリューというふう
に、結構な時間かけて整えさせていただきました。
これをこれから社員に浸透させていくために、
こういったものを作って、こういったものでちょ
っとづつ100パーセント思い出すと思うん
ですが、浸透させていければなというふう
に具体的にちょっといろいろ動いております。
これからの今後のビジョンとして創業100年
に向けて会社としてはこれに並べさせてい
ただいてる内容でいかせていただこうか
なと思っております。二番目が妻との連携
としまして、私の人生での一番のフ
ァインプレーが妻との結婚だとい
うふうには思っております。これは
その何て言うんですかね、愛して
るとか好きだからとかじゃなく
て、なんかものすごい優秀なん
ですよ。例えば、いろんな事
をやりたくて私が妻のために働
かなくていいんだということが
逆効果で、働きたい社会に出
たいという形の女性であります。
例えば、最近ですとインスタを
始めてるんですけど、インスタ
のそのフォロワー数が今日の
朝また見たんですけど、20万
5千人を超えているんですね。
それを基に結構毎月いろんな
収益を得て、このままじゃま
ずいと思つてちょっと扶養から
前向きに外して、会社を起
ち上げてもらって税理士を紹
介して、今一人の個人事業主
としてやっています。いろ
いろこの発信力も付いてい
るので、本業とはまた別の
不動産部門のほうでこれ
から連携してやっていき
たいなと思っております。
三つ目、人生を豊かにとい
うことで、いろいろ話
させていただきましたけど、
青年会議所も含めて今
までやってきたことも
含めて、妻との関係も
家族もそうですけど、
自分自身の大きくと
らえて人生を豊かに
できればなと思つ
ております。ご清聴
ありがとうございました。

